

## 先進安全自動車対応 優良車体整備事業者の指定要綱

### 1. 先進安全自動車対応 優良車体整備事業者の意義とその目的

この先進安全自動車（ＡＳＶ）対応優良車体整備事業者制度は、衝突安全性能を確保しつつ省エネルギーを実現するため、超高張力鋼板等の材料が主要骨格に採用され、車体補修の際には、対応できるスポット溶接機や材料の特性に配慮した接合方法が必要となるなど、車体整備を取り巻く環境は、著しい変化を遂げている。

加えて近年、ＡＢＳ、被害軽減ブレーキや横滑り防止装置等の予防安全装置の採用や、ＥＶ、ＨＥＶやアイドリングストップ等の環境・省エネのための装備など、自動車への新技術の採用がなされ、いずれも、単独又は相互の関連性をもって電子的に制御されており、車体整備に伴う装置の取り付け、取り外しに当たって、スキャンツールを使用することが必須となっている。

これらの新技術・材料並びに電子化に対応した適切な車体整備を実施するために、弊会並びに国土交通省、一般社団法人日本自動車補修溶接協会で構成された「車体整備の高度化・活性化に向けた勉強会」により検討を進めた結果、自動車技術の変化に対応して安全・安心な車体整備技術を確保するためには、高張力鋼板対応スポット溶接機、汎用スキャンツール等の設備導入や高度化された自動車にこの設備を適切に使用できる高度化対応技能を有する人材を育成することが必要である。

このような、高度化に対応した設備・人材を保有する優良な車体整備工場を見える化して、自動車使用者や自動車販売事業者、中古自動車販売事業者及び分解整備事業者等が選択できる環境を整え、質の高い車体整備が関係者から適切に評価されるために、弊会自主制度である先進安全自動車対応 優良車体整備事業者制度を実現させるものである。